



湯沢市循環型農業推進センター

松浦市も体験型の民泊利用と併せて、国体を機に新たな受け入れ家庭の拡大ができないかという期待もありましたが、修学旅行シーズンと重なることや新たな受け入れに対しては相当の準備が必要であることから、実際の運用は難しいと思われました。循環型農業推進センターは、家畜の糞尿を堆肥化する施設ですが、利用実数が少なく毎年赤字経営とのことでした。施設周辺では特に臭いを感じませんでした。施設の内は相当に強い臭いがしており、悪臭の問題は、建設してみないと見当がつかないとのこと。現在は、畜産農家の減少と堆肥の引受団体の離脱など様々な要因が重なり、市の直営事業では厳しい状況とのことでした。当該施設の設置に際しては、畜産農家の現状と採算性の精査を行った上で、本市に適合するかどうかを十分に検討する必要があると感じます。

企業対策 特別委員会

6月7日、委員会を開催し御厨町坊ノ上への企業誘致に関し、理事者より伊万里市の水産関係会社から用地の分譲申し込みがあり、用地2千500平方メートルを整備したうえで分譲する意向が示されました。鮮魚の選別や養殖飼料等の凍結加工が主な事業で、新規雇用12名が予定されています。

7月9日、委員会を開催し東部工業団地の現地確認と企業誘致の動向について報告を受けました。製造業関連7社の現地視察があり、今後とも県と連携して企業との接触を図っていく意向が示され、市の総力を挙げた取り組みを要請しました。

8月20日の委員会では、坊ノ上地区の施設整備に関して8月1日から分譲を開始した東部工業団地に関する取り組みについて報告を受けました。東部工業団地では造成工事の際に砂等の飛散があり、周辺民家の被害状況を調査のうえ補償を検討する旨が示されたため、住民との十分

特別委員会の動き

な話し合いにより問題解決に当たるとの意見が出されました。

道路網整備促進 特別委員会

6月20日、議長及び市長とともに国土交通省九州地方整備局長及び同局長崎河川国道事務所長に対し、西九州自動車道の松浦く佐々間の平成26年度新規事業化、伊万里松浦道路の整備促進及び道路整備のための安定的な予算の確保について要望いたしました。



九州地方整備局へ要望

8月5日、佐々町において伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会が開催され、平成25年度の活動計画等を決定するとともに、「道路整備予算の確保等に関する決議」を全会一致で採択し、政府及び関係機関へ決議文を送付いたしました。

8月29日と8月30日には、協議会の活動計画に基づき、佐賀・長崎両県知事、両県議会議長並びに佐賀国道事務所長、長崎河川国道事務所長に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路の早期供用開始、松浦く佐々間の平成26年度事業化及び道路整備予算の安定的な財源確保を要望いたしました。

各機関とも、予算確保が重要であり、ミッシングリンクの早期解消に向け、一致協力して取り組んでいきたいとの回答を頂きました。



長崎河川国道事務所へ要望